

**製品名: BST-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07676**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BST2
別名	BST2; Bone marrow stromal antigen 2; BST-2; HM1.24 antigen; Tetherin; CD317
遺伝子 ID	684.0
SwissProt ID	Q10589
免疫原	抗血清はヒト BST2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

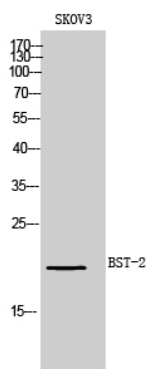
**背景**

骨髄間質細胞は B 細胞の成長と発達に関与している。骨髄間質細胞抗原 2 によってコードされるタンパク質の具体的な機能は未解明

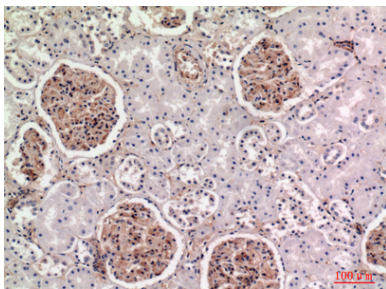
であるが、このタンパク質はプレ B 細胞の成長と関節リウマチにおいて何らかの役割を果たす可能性がある。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患：関節リウマチ (RA) における B 細胞活性化に関与する可能性がある。機能：分泌タンパク質の選別に関与している可能性がある (類似性に基づく)。プレ B 細胞の成長に関与している可能性がある。細胞表面からのレトロウイルスの放出を阻害する抗レトロウイルス防御タンパク質。HIV-1 感染前は、ウイルスの VPU タンパク質によって 20S プロテアソーム分解され、枯渇する。誘導：B 細胞活性化時 (タンパク質レベル)、またはインターフェロン  $\alpha$  による抗ウイルス状態細胞プログラムの一部としての活性化時。サブユニット：ホモ二量体。組織特異性：肝臓、肺、心臓、胎盤で主に発現する。脾臓、腎臓、骨格筋、脳では低レベル。多発性骨髄腫細胞で過剰発現する。B 細胞分化過程 (プロ B 前駆細胞から形質細胞へ) で高発現する。T 細胞、単球、NK 細胞、樹状細胞で高発現する (タンパク質レベル)。

## 研究分野

## 画像データ



BST-2 ポリクローナル抗体を用いた SKOV3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された